

# No. 1005

## ハイセイコー強し

—さつき賞—

無敗を誇るハイセイコーが勝つか、ライバルの関西馬ホウシュウエイトが勝つか、三冠への第一歩、第33回さつき賞は4月15日、雨の中山競馬場に76,000の観衆を集めて行なわれました。重馬場の距離2000メートルを争う16頭のサラ四歳馬。ユーシオ、スピードリッチ、ハクサンホマレなどが先行を争い、注目のハイセイコーはやや包まれ気味、しかし向正面では三番手から二番手をうかがい、第三コーナーでは、はやくもトップにたちます。第四コーナーを回って直線コースに向うや、いっきにラスト・スパートをかけ、追いつがる後続馬を振り切り、増沢騎手好騎乗のもと、2分6秒7で優勝しました。

ライバルの関西馬、ホウシュウエイトは中団からよく追い込みましたが、とどかず、2着カネイコマにも頭の差で3着に終わりました。

ハイセイコーはこれで中央競馬入りして3勝、公営の6勝を加えて、無敗の9連勝をマーク、三冠への期待をますます高めました。

## 戦 国 絵 巻

—信玄祭—

「東国に甲斐の強国あり」と戦国の世におそれられた武田信玄のふるさと山梨県甲府市。「人は石垣人は城」とうたい、城を築かなかった信玄。その面影は400年の風雪を経て、武田館にわずかに残るだけだ。

4月14日、名将武田信玄をしのび、信玄まつり甲州軍団の出陣が甲府市内で壮大に繰り広げられた。甲府駅前設けられた本陣に武田24将、1,200人余りの軍勢が待機。史実に忠実に出陣の段どりは進められていく。タイマツが燃され、ホラ貝が鳴りひびき、出陣太鼓が打ちならされ戦国ムードは盛り上がり、祭りはクライマックスを迎える。

三献の儀がおごそかに行なわれているさなか、川中島の風雪急を知らせる伝騎。そして下される出陣の下知。よろい、かぶとに身を包んだ軍団が昔日の勇姿そのままに出陣、壮大な戦国絵巻を再現。

勇壮な女武者隊も参加し、見物客の目を引く。舞鶴公園まで行進した軍団は、勝ちどきを上げる。

「エイエイオー」夜空にこだまし、時の過ぎるのも忘れ、豪壮な戦国ムードに酔い痴れていた。